

2015 ぼくの夢 わたしの夢

新しい年を迎えて、
高山小学校6年生の
皆さんに「将来の夢」を
語っていただきます

「みんなを笑顔にする 花屋さん」

飯塚一葉



「絵に関する仕事」

林紗惠理



私は、幼稚園生の時から、絵を描くことが好きで、よく描いていました。特に人物を描くのが好きで、漫画の主人公などをまねして描いていました。でも、数年前から、自分らしい絵

を描きたいと思うようになりました。それで、目とかを考えたり工夫したりして描いてみたらとても楽しくなりました。今でも描くことができます。今でも描くことがとても楽しいです。

だから、私は絵に悶える仕事をしたいと思つています。イラストや漫画家、画家。描くことを楽しんで、笑つて暮らせればいいと思つています。



「2つの大きな夢」

野上 棕太



ぼくの将来の夢は、2つあります。

1つめは、ゲームを作る会社に入ることです。新しいゲームを作つて世界中の人にそのゲームを楽しんでもらいたいからです。

自分が考えた登場人物が出来たらしいと思います。2つめは、集英社に就職することです。まんがの編集者になつて、まんが家のところに行つて出来上がりつた原こうをもらつたりする仕事をしてみたのです。そんな姿にちょっとあこがれています。

私の将来の夢は花屋さんになることです。なぜかと いうと花が好きだからです。私の身近にはいつも花があるので、自然に花が好きになりました。私は特にシクラメンを作りたいです。シ

クラメンは、色々な種類があつて、葉っぱもハートの形をしているものや種類によつて様々です。その中でも私は、ウエディングドレスという種類が気に入っています。おじいちゃんとおばあちゃんが花を作つて、花を育てるには、細かいことが上手にならないといけないのでがんばりたいです。きれいな花を育てる、みんなを笑顔にしたいです。



「卓球選手」

相京
大輝



ぼくの将来の夢は卓球選手になることです。ぼくは卓球を4年生から始めました。テレビで見た卓球をやつている様子がとてもおもしろそうだったからです。

たら、練習がとても楽しくなってきました。卓球の試合に初めて出たときは、緊張して自分のプレーができなかつたけど、大会を重ねるごとに緊張しなくなり、今では樂しいくらいです。卓球選手になつたら絶対に金メダルをとつて喜びたいです。

ぼくが夢をかなえるためには、卓球をいつしょくんめいすることだけでなく、日々の生活でも、早寝早起きをして、しつかりとバランスの良い食事をとることも大切だと思います。毎日をしつかりがんばりたいで



「スイーツのお店
を有名店に」

倉田 穂乃香

「高山村に大きい
レストラン」

野上 太一



僕の将来の夢は、料理人になることです。理由はテレビで料理人が料理を作つていて「すごいな。」と思つたからです。僕が料理人になつたら、お金をたくさん稼いで親孝行したいです。あと、高山村には大きなレストランがないので高山村に大きいレストランを友達と一緒に経営したいです。できればすごくおいしい料理をつくつて、世界に認められるような三ツ星のレストランにしたいです。僕はこの夢で大切なことは、日々礼儀正しく接することと人に迷惑をかけないことだと思います。このことを学校生活で改善して、人にたくさん感謝される料理人を目指して頑張りたいと思います。

私の将来の夢は、パティシエになつて店を経営するということです。きっかけは、父が料理人であったことと、ケーキやパフェを作つてもらつた時、いつかは自分も作りたいと思ったからです。そのためには、いっしょにうけんめい勉強して基本から学び留学したいと思います。それまでは、進んでスイーツ作りをし、道具の使い方や調理方法を覚えていき将来に生かせるようにしたいです。もし夢がかなつたら、開店初日には家族や友達、今までお世話になつた方々を招待したいと思います。そして、日本中に名を知られるような有名店にしていきたいです。これから少しずつでも、夢に向かつて日々努力していきたいと思います。



「病に悩む人の
力になりたい」

星野 紗瀬

「獣医師になつ
て！」

山野井 美優



私の将来の夢は獣医師になることです。獣医師になろうと思った理由は、昔から動物が好きで、その動物を助けられる人になりたいと思ったからです。私は2年生の時にラブコリーという犬種の犬を飼っていました。その犬は、クラークという名前でした。クラークは生まれ持つた病気があつたみたいで家に来てから2ヶ月で亡くなってしまいました。私はその時、必ず獣医師になると決めました。今はその時、必ず獣医師と

私の将来の夢は医療関係の仕事に就くことです。きっかけは私が4年生の時に祖母が心臓病で亡くなつたことや、祖父母が糖尿病や高血圧だつたりすることです。医師、看護師などの詳しいことは決まっていないけれど、医療に関する職に就きたいと思いました。たくさんの薬を飲むなど、とても大変そうだから、他の方法などを研究し、安心な暮らしをしてほしいです。私の家族は良い事をすると褒めてくれます。何かあると心配してくれます。そんな家族に親孝行することも夢です。もし、この職に就けたら何か新しい事を研究して発見したり、病に悩む人の力になつたりしたいです。



「がんを治せる
薬を作りたい」

五島 愛莉

「お父さんと同じ
大工に」

阿部 広暉



僕の夢は、大工になることです。僕は大工になつて皆に安心して住むことができる家を作りたいです。理由はお父さんが大工で、一緒に仕事場に行つたときに、手伝いをしていてとても楽しい思いをした経験があるからです。大工になるためには、算数の知識を身に付ければならないし、体力も必要なつてきます。また、専門学校に行つて家の設計図を書く技能も身に付けなければなりません。

知識や技能、体力を身に付けるために、普段から努力をします。

